

艦娘着妊  
その後の響ちゃん



今朝は私が自分の赤子に  
乳をやっている夢を見た

夢の中の私は随分幸せそうで  
意外だったがその理由は  
すぐにわかった

現実の私も見張りの  
兵士に乳を吸われて  
いたというわけさ

朝から最悪の  
目覚めだ

カッ  
カッ  
カッ

カッ  
カッ  
カッ

カッ  
カッ  
カッ

あの將軍の腹いせか…  
それとも使える物は  
なんでも使おうという  
腹だろうか？

まあどちらでも  
いいさ

今日は前線基地の  
慰問に行かされる  
ことになった

例の一件以来  
私の自由は大幅に制限され  
監視も大幅に厳しくなった。  
まあ当然といえば当然か

カッ  
カッ  
カッ

連れていかれた先は  
日本に一番近い港が  
ある基地だった

連れていかれた先では  
早速服を脱がされた  
これは相当女に飢えて  
いたのだろう

裸にされた私の腹を見て  
初めて妊娠している事に  
気が付いたようだ

一瞬男達は驚いた  
ようだが妊婦を抱ける  
事に興奮したのか

はあ...

一段とチンコを  
大きくして私に  
群がってきた

はあ...

それとも女なら何でも  
構わないのか...

私自身心の中では  
さっさと終わらせる  
つもりだったが

目の前にそびえ立つ  
大量のチンコを前にして  
自然と笑みが零れてしまう



そこから後は兎に角  
肉の絡み合いだった

口や尻の穴は当然  
太ももや足の裏まで使って  
射精しようとして私に  
擦り付けてきた

視界は常にチンコで  
埋め尽くされ

それを私は口だけじゃなく  
手や足まで使って  
片っ端からしごいていく



上と下から何度も精液を飲まされ  
お腹が臨月のようになつた私は  
精液を吐き出してしまふが



兵士たちはお構いなしに  
吐いたばかりの口にチンコを  
押し込んでくる

何人相手をした  
ただろうか？

半ば放心状態の私を兵士達は  
お構いなしに突いては腹の赤子に  
精液を遠慮なしにぶっかけていく





この海を渡れば  
皆がいる日本がある

だが今の私では  
燃料が足りないし  
逃げる事は  
叶わないだろう

だが私は  
どんな手を使っても  
必ず…必ず日本に…

慰安任務が終わり  
へとへとで帰ってきたが  
眠る事は叶わなかった

例の將軍の息子が  
深夜に私の所に来て  
強制的に相手をさせられる  
事になったからだ

前にあの男が  
言っていた通り…

こいつは力加減が出来ないし  
まるで私をオナホの様に  
扱ってきて、腹の中をかき回してくる



その上射精の量も  
半端じゃないからシエイクされた  
中身を予定よりずいぶん早く  
産んでしまいたいそうになる



まさか私に  
早く産ませる  
つもりだろうか…？

いや  
まさかな…

最近  
はひとしきり射精すると  
私の乳を求めてきたり  
ママと呼んでキスしてきたり  
子供のよう甘えてくる

それに  
何か欲しい物は無いか  
度々聞いてくるが  
私の機嫌を取って  
どうするのだろうか？

まさか母親をやって  
ほしいのか？

あーっ

ちゅーん  
んんん

あーっ

んんん

んんん

まあ、こいつが何を  
求めているのであれ  
私の言う事を聞いて  
くれるなら好都合だ

最大限利用  
してやろう

ふふっ…  
その間くらい母親でも  
何でも演じてやろうじや  
ないか…

■発行 悪転奏進  
■発行日 2016年12月29日  
コミックマーケット91

■代表 黒糖ニッケ  
■シナリオ提供 白崎カル (Pixiv ID:1106298)  
■印刷 株式会社 サングループ 様  
■HP <http://blog.livedoor.jp/kokutounikke/>  
■PIXIV ID 48770

※18歳未満の方の購読を禁じます。  
無断転載を禁じます。



Presented by  
**悪転奏進**  
-AKUTENSOUSHIN-

※本同人誌は成年向けです。  
未成年者閲覧・購読は  
お断り致します。